

# ～新聞を読んで「社会」と「世界」とつながろう～

「最も求められるものは「強い」ことで、一方で「薄い」ことも求められています。」

……………何のことか、おわかりですか？

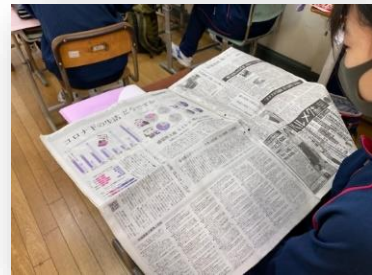
答えは「**新聞紙**」



強いことは「高速で印刷する輪転機に通しても切れないため」

薄いことは「各家庭に配達する際の負担を軽減するため」

……………これは数年前の全国学力状況調査 中学校国語Aの問題に取り上げられた説明文です。



地方紙を読むNくん。

大好きな〇アン〇オーレの記事に釘付け！

コロナの文字を見ない日はありませんね..。

収束を願うばかりです。

3年生は朝の読書の時間を利用して新聞読みタイムを行っています。学校で購読している2紙(地方紙と全国紙)と前校長先生のご厚意でもう1紙(全国紙)、合計3紙を各班ごとにローテーションで読みます。最初はパラパラ..とめくる音が教室中に響きますが、すぐに静寂の時が。新聞に「全集中」の3年生です。

新聞には、おおよそ20万字の文章が印刷されています。これは本にすると、なんと新書2冊分と同じ文字数になります。これを全部読むのは大変ですし、全部を毎日読み切る人はそういないかもしれません。ですが、新聞のよいところは写真や大きな見出しの文字を見て、興味のある記事だけ読むことができることです。これを毎日続けることで世の中の出来事や興味のあることからの変化や動きを知ることができます。新聞は世の中を知る窓口であり、毎日読むことで社会とつながります。たくさんの知識が増え、感じたり、考えたりする力も身につきます。身延中図書館でも新聞を閲覧することができます。読む習慣もない人もまずは形からでもいいので、眺めることから始めてみませんか？

高校入試の日が近づいてきました。社会の問題からは毎年、その年のタイムリーな出来事や山梨県の地理・歴史を切り口とした問題が見られます。この新聞読みタイムが受験生のみなさんへの一助になることを願っています。

(社会科のS先生も学級通信の中でこのように触れています。)



世の中で今、何が起きているのか!?みなさんにはぜひ関心をもってもらいたいです。今はスマホでニュースも簡単に見ることができますが、手軽なものには落とし穴もあります。フェイクニュース(真実でないもの)や都合の良い情報だけが発信されることも少なくありません。ぜひ活字をきちんと読みこなすことも意識してみませんか？

